

＜第6回古代歴史文化賞について＞

1. 古代歴史文化賞とは

古代歴史文化にゆかりの深い三重県、奈良県、和歌山県、島根県、宮崎県の5県が連携して古代歴史文化に関する書籍を表彰することを通して、国民の歴史文化への関心を高め、豊かな歴史文化に恵まれた各県の交流人口の増加を促すとともに、各県民の郷土への自信及び誇りを醸成することを目的とする。

2. 対象書籍

古代歴史文化に関する書籍で、選定の直近3年度（平成27年度～平成29年度）に初版で出版され、書店等で販売されているもののうち、次の要件を概ね満たすもの

- (1) 日本の古代に関して執筆されている。
- (2) 一般読者にとって分かりやすくおもしろい。
- (3) 学術的基盤に基づいている。
- (4) 単著を基本とする。

3. 受賞書籍の決定

(1) 推薦

専門家や有識者などの推薦委員、歴史文化に関連する書籍を発行する出版社が推薦する。

(2) 絞込

専門職員の絞込、外部委員による審議を経て、対象作品を5作に絞り込む。

(3) 受賞書籍の決定

古代歴史文化賞選定委員会において受賞書籍を選定し、決定する。

4. 賞の内容

- 古代歴史文化賞 大賞 1点 正賞：美保岐玉^{みほぎだま}（※）、副賞：100万円
- 〃 優秀作品賞 4点 副賞：各30万円

※「美保岐玉」について

- ・玉は靈力を秘めた宝器であり、権力や呪力の象徴として古代から珍重された。
- ・なかでも出雲国造が天皇に献上した玉である「美保岐玉」は、青、赤、白の3種の玉を組み合わせて一連にしたもの。
- ・古代歴史文化賞の正賞として授与する「美保岐玉」は、古代の玉の産地であった島根県花仙山産の青石（碧玉）、赤メノウ、水晶を使用し、現代の工房で作成したものである。

○受賞作品著者には、上記のほか記念品として主催各県の特産品を贈呈する。

5. 記念シンポジウム

- (1) 日時 平成31年2月9日（土）13:00～16:30（時間は予定）
- (2) 会場 銀座ブロッサムホール（東京都中央区銀座）
- (3) 内容 受賞作品著者の基調講演、パネルディスカッションなど（予定）